



調布市民プールのあり方検討委員会 第1回資料

令和 7 年 5 月 28 日

調布市生活文化スポーツ部スポーツ振興課

目 次

1	調布市民プールのあり方に関する検討委員会の設置について	1
1-1	これまでの背景・経緯	1
2	調布市民プールを取り巻く現状	2
2-1	公営プールを取り巻く現状	2
2-2	調布市民プールの基本的事項	5
2-3	調布市内の公営プールの老朽化状況	10
2-4	調布市内の公営プールの利用状況	13
2-5	調布市内の公営プールの運営・維持管理状況	16
3	調布市民プールのあり方に関する課題等の整理	18
3-1	調布市民プールを取り巻く課題	18
3-2	調布市民プールのあり方に関する検討の基本的な考え方	18
4	調布市民の公営プールに関するニーズ等調査	21
4-1	市民アンケート調査	21
4-2	学校アンケート調査	23
4-3	団体ヒアリング調査	26
5	今後のスケジュール等について	27
5-1	今後のスケジュール等	27

1 調布市民プールのあり方に関する検討委員会の設置について

1-1 これまでの背景・経緯

調布市民プールは、市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、健康で文化的な生活向上に寄与することを目的に昭和46(1971)年に設置されました。

その後、必要に応じて改修工事等を繰り返し、健全な施設状態を維持しながら市民サービスを続けてきました。

設置から50年以上が経過した令和5(2023)年10月、施設点検の際に50mプールの水位が低下する事象が確認されました。これを受け、施設全体の劣化度を確認する調査を実施した結果、各種施設設備で劣化事象が確認されました。その中には、50mプールなど劣化が著しく顕在化し、放置すると設備によっては故障や漏水の増加などで施設が使用不可となるなど、緊急対応が必要と判断される部位もありました。

これらの改修・更新には数千万円単位の多額の費用が必要になるほか、近年の気候変動による猛暑日の増加など、屋外プールをめぐる環境の変化に伴う様々な課題もあることから、こうした状況を総合的に勘案し、令和7(2025)年度以降、当面の間は市民プールの開設を中止することとしています。

このような背景・経緯を踏まえ、市民プールのあり方に関する検討委員会(以下「検討委員会」という。)を設置し、多角的な視点から市民プールの今後のあり方について検討を行います。

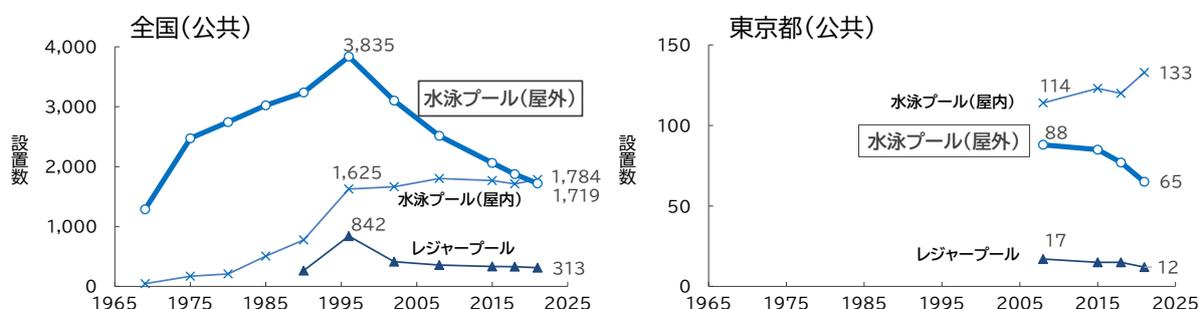
2 調布市民プールを取り巻く現状

2-1 公営プールを取り巻く現状

(1) 公営プール(屋外)を取り巻く社会情勢の大きな変化

1970年代以降、レジャーブームの定着や第二次ベビーブーム世代の増加を背景として、主に子どもや家族をターゲットとした公営プール(主に屋外)が全国で次々と整備されました。

その後1980年代からスイミングスクールやスポーツクラブ等の民間プール(主に屋内)が各地で整備されるとともに、夏季のみしか利用できない屋外プールの需要を奪い、そしてバブル崩壊やレジャーの多様化、さらに猛暑やゲリラ豪雨など異常気象の増加もあり利用者が減少し、自治体の財政難も相まって減少の一途をたどっています。



<調査におけるプール施設の定義>

- 水泳プール(屋内) : 水面積 150 m²以上のもの
- 水泳プール(屋外) : 水面積 150 m²以上のもの
- レジャープール : 流水プール、造波プールなどで、レジャープールとして使用されるもの

出典: 体育・スポーツ施設現況調査(スポーツ庁)

図 2-1 公営プールの設置数の推移(左:全国 右:東京都)

さらに、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2020年シーズンから多くのプール施設が休園を余儀なくされました。特に屋外の公営プールは、もともと築40~50年が経過し老朽化が顕在化していたところに、長期の営業休止が施設の劣化や腐食の進行による改修費の増大を招き、結果、全国で閉鎖や休園が相次ぎ、現在に至っています。

消える公営屋外プール

県内で閉鎖や休園となった主な公営屋外プール(読売新聞朝刊)

施設名	所在地	閉鎖年	現状と今後の見通し
市民プール	飯塚市	1972年	2020年度で閉鎖
市民親水プール	加賀市	78年	20年度で閉鎖
市民まき水公園プール(奥器)	上野市	71年	21年度で閉鎖
グリーンセンター流水プール	川口市	79年	21年度で閉鎖
屋外市民プール	吉川市	81年	21年度で閉鎖
ガーデンビニール	富士見市	84年	21年度で閉鎖
大和田ファミリープール	新城市	97年	21年度で閉鎖
さくら運動公園屋外プール	熊谷市	71年	22年度で閉鎖
初雁公園水泳プール	川崎市	51年	22年度は休園。現在地に公営計画
中央公園プール	入間市	66年	22年度は休園。閉鎖の方向
市民プール	久喜市	60年	22年度から当面休園。再開見込み

閉鎖、休園 次々…

県内で公営の屋外プールが老朽化を理由に相次いで閉鎖や休園に追い込まれている。設備の老朽化だけでなく、安全の確保が難しくなり、改修するにも多額の費用がかかるため、結果的に閉鎖や休園が相次いでいる。読売新聞朝刊の取材では、この3年間で全体の約半分の屋外プールが閉鎖や休園になった。新設の数はほぼゼロで、レジャーの場は大幅に減少している。

【参考】
消える公営屋外プール
2022年8月9日
読売新聞、朝刊、埼玉版

(2) 地域におけるプール施設の全体最適を目指す機運の高まり

近年、生涯スポーツや健康づくりへの意識の高まりから、通年利用できる屋内プールのニーズは堅調に推移する一方、屋外プールは前述の通り多くの自治体で廃止や休止が相次いでいます。屋外が中心の学校プールは、老朽化に伴う維持管理や更新コストの負担が課題となり、安心・安全や費用対効果の観点から、公営や民間の屋内プールを利用した水泳授業に切り替え、学校プールを廃止する自治体もあります。さらに、維持管理における教職員の過度の負担が社会問題化したこともあり、令和6年7月には文部科学省から各教育委員会に対して、『プール管理が教員の過度な負担になっているため、自治体は、学校プールの民間委託や公営プールの活用などの負担軽減策を検討すること』と通知が出されています。

このような経緯があり、現在は、限られた財源のもとでプール施設に求められる地域の多様なニーズを満たすため、施設所管課や公共・民間の壁を越えた、地域におけるプール施設の全体最適が求められているといえます。

(3) 調布市内及び近隣自治体の公営プールの現状

調布市内には、調布市民プール(屋外)のほか、総合体育館プール(屋内)、京王アリーナTOKYO(武蔵野の森総合スポーツプラザ(屋内))があります。

市立小・中学校においては、基本的には屋外プールが整備されていますが、市立調和小学校では屋内プールが整備され、市民開放で一般利用されている他、民間による水泳指導(試行)も行われています。なお、調布市民西調布体育館の機能移転に伴い、調布中学校の敷地を利用してスポーツ施設と併設した学校施設としての屋内プールを今後整備していく予定です。

近隣自治体(府中市、三鷹市、狛江市、稲城市)では、いずれも屋内プールと屋外プールを保有しています。

表 2-1 調布市内及び近隣自治体の公営プールの概要（調和小以外の学校プールを除く）

自治体	施設名称	プール種別		開設年度	施設機能	備考
		屋外	屋内			
調布市	調布市民プール	●		1971	50mプール, 25mプール, 幼児用プール, 変形プール	
	総合体育館プール		●	1985	25mプール	
	調和小学校プール		●	2002	25mプール, 幼児用プール	
	京王アリーナTOKYO (武蔵野の森総合スポーツプラザ)		●	2017	50mプール	都立
	西調布体育館代替施設プール(仮称)		●	未定	未定	R9年度以降に設計着手予定
府中市	郷土の森総合プール (市民総合プール)	●		1971	50mプール, 25mプール, 幼児用プール, 流水プール	
	生涯学習センター		●	1993	25mプール, 幼児用プール	
	府中市民プール	●		1987	50mプール	
	西府プール	●		1984	25mプール, 幼児用プール	
	郷土の森博物館	●		1989	水遊びの池	
	府中の森公園	●		1991	じゃぶじゃぶ池	
	美好水遊び広場	●		1990	じゃぶじゃぶ池	
三鷹市	SUBARU総合スポーツセンター (三鷹中央防災公園・元気創造プラザ)		●	2017	25mプール, 幼児用プール	調布市民は「市内料金」で利用可
	井口コミュニティ・センター	●		1979	25mプール	
狛江市	狛江市民プール	●		1984	50mプール, 幼児用プール	
	旧狛江第四小学校跡地 新施設(仮称)		●	未定	25mプール, 幼児用プール (仮)	2025.3基本計画公表
稲城市	稲城市民プール (大丸第2公園プール)	●		2005	25mプール, 流水プール, 幼児用プール, スライダープール	
	オーエンス健康プラザ (稲城市健康プラザ)		●	2012	25mプール	

2-2 調布市民プールの基本的事項

(1) 調布市民プールの概要

調布市民プールは、昭和 46 年(1971 年)に市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、健康で文化的な生活向上に寄与するために設置されました。

施設は多摩川沿いにあり、洪水・土砂ハザードマップでは多摩川浸水想定区域「0.5m～3.0m 未満の区域」に位置しており、多摩川家屋倒壊等氾濫想定「氾濫流」区域内にあります。

表 2-2 調布市民プール施設概要

住所	染地2丁目43番地1	施設アクセス	京王多摩川駅 徒歩 15 分
区域区分	市街化区域	用途地域	第一種低層住居専用地域
設置条例	調布市民体育施設条例	利用対象者	市民
財産区分	行政財産	運営形態	委託
開館時間	夏季(7月10日～9月10日)9時00分～18時30分		
利用料金	<ul style="list-style-type: none"> 市内(大人:150円, 中学生:70円, 小学生以下:50円) 市外(大人:300円, 中学生:140円, 小学生以下:100円) 		
提供サービス	<ul style="list-style-type: none"> プール(屋外施設)の貸出(7/10～9/10) 50mプール 8コース, 25mプール 6コース, 変形プール, 幼児用プール ※ プール開設期間以外(10月～5月)は, ロッカー室を体育施設(卓球・ダンス体操など)として使用可。会議室1室。 		

- 多摩川浸水想定区域
 - 10.0m～20.0m未満の区域
 - 5.0m～10.0m未満の区域
 - 3.0m～5.0m未満の区域
 - 0.5m～3.0m未満の区域
 - 0.5m未満の区域
- 多摩川家屋倒壊等氾濫想定区域図
 - 河岸侵食
 - 氾濫流

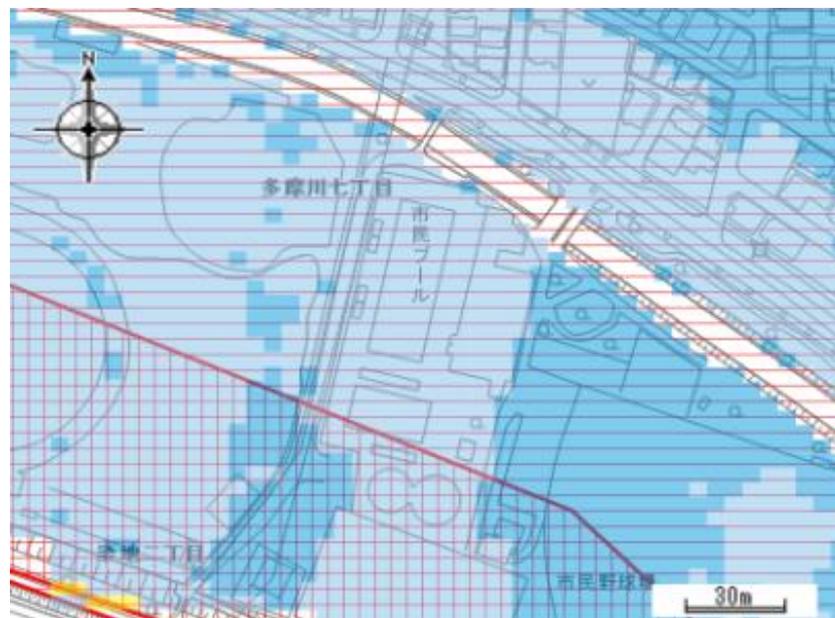


図 2-2 洪水・土砂ハザードマップにおける調布市民プール周辺の状況

出典:調布マップ/<https://www2.wagmap.jp/chofu/Portal>

表 2-3 調布市民プール施設概要

建物・プール	延床面積	構造・規模	竣工年	築年数
管理棟	983.04 m ²	鉄筋コンクリート造 地上 2 階	1988 年	37 年
機械室	19.44 m ²	コンクリートブロック造 地上 1 階	1973 年	52 年
50m プール		鋼製 防水層:塩ビ系シート防水	1971 年	54 年
25m プール		鋼製 防水層:塩ビ系シート防水	1972 年	53 年
変形プール		鋼製 プール用塗料	1973 年	52 年
幼児用プール		コンクリート 防滑塩ビシート	1972 年	53 年

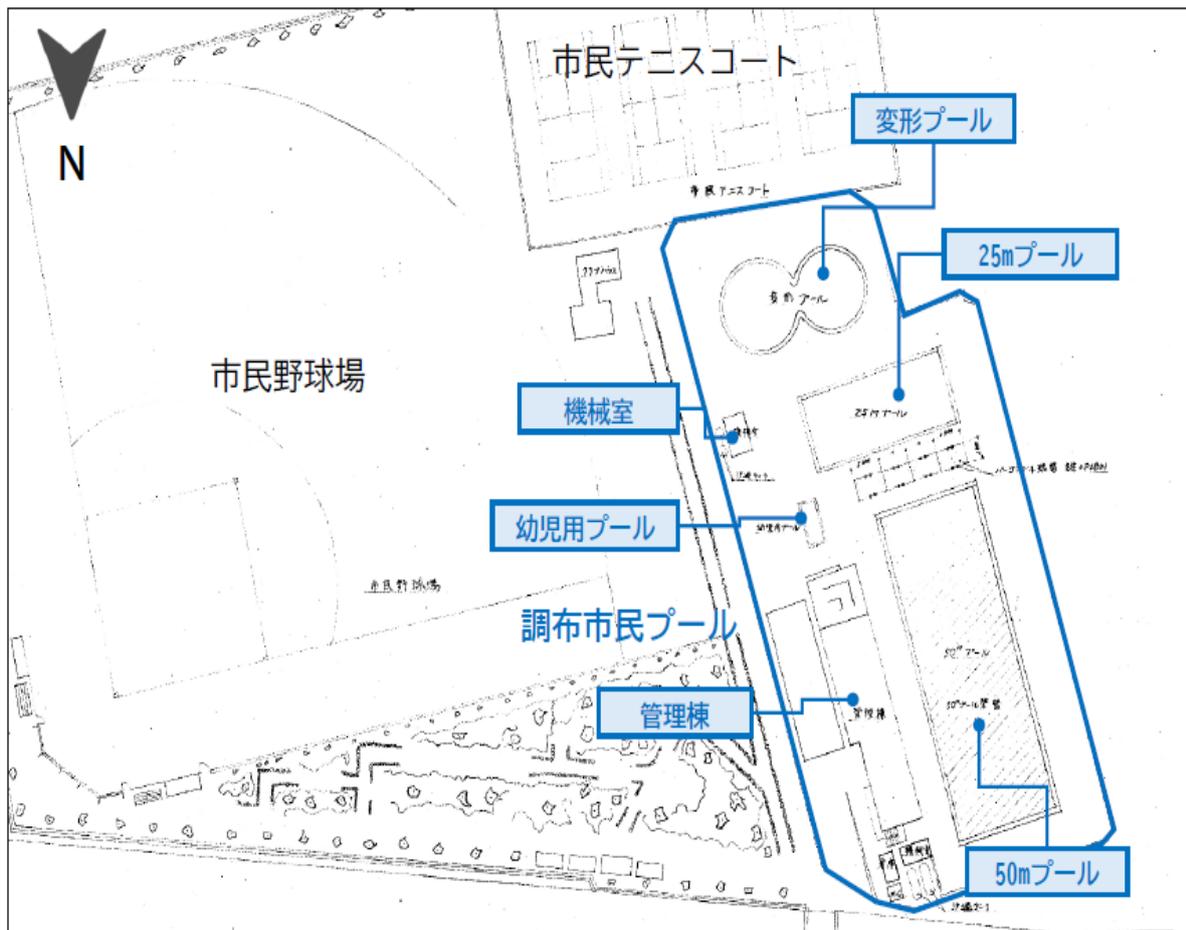


図 2-3 調布市民プール配置図



50mプール



25mプール



変形プール



幼児用プール



管理棟(プールサイドから)



機械室

図 2-4 調布市民プールの建物・プールの外観(令和 7 年 4 月撮影)

(2) 調布市の公営プールに係る上位・関連計画

1) 調布市スポーツ推進計画(令和6年(2024年)3月策定)

本計画では「生涯にわたって誰もがスポーツに親しみ生き生きと過ごせるまち」を将来像に掲げ、3つの基本目標を定めています。2つ目の基本目標「2.スポーツ環境の充実」の主な取組項目として「2-2 スポーツ施設の効率的かつ効果的な維持管理・運営」を設定し、「スポーツ施設の再配置の検討」を取り組む方針としました。



図 2-5 調布市スポーツ推進計画の抜粋

2) 調布市公共施設マネジメント計画(令和5年(2023年)2月策定)

本計画では、市内の個別施設における今後のあり方・方向を示しており、令和5年(2023年)から令和28年(2046年)までの24年間に8年間に区切り、第Ⅰ期～第Ⅲ期の期間別に方針を定めました。調布市民プールの見直し方針として「施設の計画的な維持保全を実施しながら、施設・設備の老朽化や運営上の課題を踏まえ、今後の方向について多角的に検討する。」としており、第Ⅰ期(令和5年度～令和12年度)においては「⑥継続して検討」と位置付けています。

第3章 個別施設状況・方向										
2) 屋外運動施設(施設分類 No61～62)										
No61	施設分類名	市民プール								
サービス	設置目的・根拠	調布市民体育施設条例第1条								
	提供サービス	プール(屋外施設)の貸出(7/10～9/10) 25mプール、50mプール、変形プール、幼児プール ※プール開設期間以外(10月～5月)は、ロッカー室を体育施設として貸出し、会議室1室								
見直しの方向	・施設の計画的な維持保全を実施しながら、施設・設備の老朽化や運営上の課題を踏まえ、今後の方向について多角的に検討する。【方針①】									
	①当面維持 ②改善 ③移転 ④縮小 ⑤廃止 ⑥継続して検討	I期	II期	III期						
		⑥	I期⑥に基づく方向							
208	施設名称	市民プール			所在地	染地2丁目43番地1				
建物状況	建築物名称	保有形態	延床面積(m ²)	建設年度	耐震化	劣化度				
	市民プール(管理棟)	市保有	983	1988	新	防水	外壁	電気	受変電	機械
コスト	管理運営形態	管理運営費(令和元年度)			うち維持管理費		うち事業運営費			
	委託	14,528千円			3,744千円		10,784千円			
取組の方向		I期	II期	III期	施設・設備の老朽化や運営上の課題を踏まえた今後の対応の検討⑥【I期】					
		⑥	I期⑥に基づく方向							

図 2-6 調布市公共施設マネジメント計画 第3章 個別施設状況・方向の抜粋

3) 調布市公共施設等総合管理計画改訂版(令和5年(2023年)3月)

本計画では、「持続可能な市政経営」を目的に掲げ、公共施設等の基本的な考え方を示しています。施設類型ごとの基本的な考え方において、市営プールが属する「体育施設」では「体育館等の長寿命化」、「西調布体育館の移転」、「屋外運動施設の適切な維持保全」を基本的な考え方(検討の視点)として掲げています。

表 2-3 体育施設の基本的な考え方(検討の視点)

施設類型	主な施設	基本的な考え方(検討の視点)
体育施設	総合体育館、市民プール、市民野球場、市民西町サッカー場、市民テニスコート、学校の体育施設等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育館等については、長寿命化に向けた適切な維持保全を実施していきます。 ○ 西調布体育館については、中央自動車道耐震化工事に伴い移転を検討します。 ○ その他、屋外運動施設については、適切な維持保全を継続して実施していきます。

2-3 調布市内の公営プールの老朽化状況

(1) 調布市民プール

1) 改修工事等の実施状況

1971年開設から54年後の現在に至るまで施設維持のため、45回の改修工事、4回の診断調査を実施しています。

表 2-4 調布市民プールの主な改修工事履歴

年	主な工事内容
1986	50m プール塗装工事, テント張替
1988	管理棟改築工事
2004	甲羅干し床改修, プール塗装工事, 管理棟屋上防水工事, ろ過装置ろ材交換
2011	プールろ過循環配管更新工事他
2014	甲羅干し・パーゴラテント張替, 管理棟改修工事
2016	水槽内循環配管ほか改修工事
2018	循環浄化装置更新, トイレ改修, 受変電設備更新

2) 劣化状況（劣化度調査報告書より）

令和5年(2023年)10月に50mプールの水位が低下する事象が確認され、令和6年(2024年)1月に探傷検査を行ったところ、底面に32箇所の破断が確認されました。これを受けて「調布市民プール劣化度調査」を実施しています。

劣化度調査において50mプールは、「劣化度が高く、緊急な対応が必要」と判定され、今後もプール営業を続ける場合は、全面的な改修が必要と診断されました。総合所見を踏まえると、水位低下の問題に対応し、安全・安心にプールを開設するためには、少なくとも50mプールの全面的な改修・更新を実施することが必要であり、今回の事案解消に向けた部分的な改修をする場合においても、改修工事には数千万円が見込まれます。

表 2-5 劣化度調査において劣化度が高く、緊急な対応が必要と判定された部位

プール	50m プール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水張試験では、漏水部は循環配管内部及び鉄板のプール槽の可能性が極めて高い。 ・ 排水管は錆こぶなどの劣化が著しいため、早急な対応が必要。 ・ 鉄板プール槽の穴あき箇所から漏水している可能性が高いと推察された。 ・ 各調査の結果から総合的に考えると、今後もプール営業を続ける場合は、全面的な改修が必要。
	プール 廻り	<ul style="list-style-type: none"> ・ シート防水は循環配管口廻りに剥がれ、プール側面部に浮きが見られ、現状漏水している。
管理棟	アルミ 建具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1階ロッカー室の排煙窓が1箇所故障中である。火災時に煙を外へ逃がすことが出来ないため、改善が必要である。
	屋上防水	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南側屋上2階にシート防水平場に局所的な破断が見られる。防水の破断は漏水に繋がるため、早期の改善を推奨



50mプール
水張試験 水位状況



50mプール
MH 排水の流れ無し



プール廻り
循環配管口廻り 防水の剥がれ



プール廻り
プール側面部 防水の浮き



アルミ建具
1階ロッカー室 排煙窓故障



屋上防水
平場 局所的な破断

図 2-7 調布市民プールの劣化状況写真

管理棟の劣化度については、調布市公共施設マネジメント計画(令和5年2月策定)において公表されています。劣化度は劣化状況調査(令和3年度)によって判定基準を元に判定され、劣化度調査結果の示す通り、管理棟の「防水(屋上)」の劣化度は緊急対応が必要とされるD判定となりました。

表 2-6 調布市民プール管理棟の劣化度

208	施設名称	市民プール			所在地	染地2丁目43番地1				
建物状況	建築物名称	保有形態	延床面積(m ²)	建設年度	耐震化	劣化度				
						防水	外壁	電気	受変電	機械
	市民プール(管理棟)	市保有	983	1988	新	D	C	A	A	B

表 2-7 劣化度の判定基準

【図表7】《判定基準》外壁及び屋上防水等

優先度	劣化度	判定基準
高	緊急	雨漏りやモルタル片の落下が発生しており、緊急対応が必要
↑	D	計画更新年数を経過しており、状態も劣化している。
	C	計画更新年数内であるが、状態が劣化している。
	B	状態は良好であるが、計画更新年数を経過している。
低	A	状態は良好であり、計画更新年数内である。

【図表8】《判定基準》設備

優先度	劣化度	判定基準
高	緊急	故障しており、緊急対応が必要
↑	D	保証期間及び計画更新年数を経過しており、異音や不具合が生じている。
	C	計画更新年数内であるが、保証期間は経過しており、異音や不具合が生じている。
	B	状態は良好であるが、保証期間及び計画更新年数を経過している。
低	A	状態は良好で保証期間内であり、計画更新年数内である。

(2) 調布市民プール以外の公営プール

調布市総合体育館の屋内プールは、令和5年度にトップライト改修工事を行ったものの、調和小学校プール共に顕著に劣化した部位は見られませんでした。

1) 市民総合体育館

表 2-8 調布市総合体育館の劣化度

204	施設名称	総合体育館			所在地	深大寺北町2丁目1番地65				
建物状況	建築物名称	保有形態	延床面積(m ²)	建設年度	耐震化	劣化度				
						防水	外壁	電気	受変電	機械
	総合体育館(体育館等)	市保有	6,065	1985	新	B	C	B	B	B

2) 調和小学校プール

表 2-9 調和小学校プールの劣化度

226	施設名称	調和小学校プール			所在地	西つつじヶ丘4丁目22番地6				
建物状況	建築物名称	保有形態	延床面積(m ²)	建設年度	耐震化	劣化度				
						防水	外壁	電気	受変電	機械
	調和小学校(北校舎)/調和小学校プール/図書館調和分館	市保有	-	2002	新	B	B	A	-	A

2-4 調布市内の公営プールの利用状況

(1) 利用者数の推移

調布市内の3つの公営プールのうち、通年利用できる屋内プールの総合体育館プールが最も利用が多く、10年間平均で年間約5万1000人が利用しています。一方、屋外プールで夏季営業のみの調布市民プールの利用者数平均は年間約2万7000人で、総合体育館プールの約半分の利用人数となっています。

10年間の利用者数の推移をみると、令和2年(2020年)から令和4年(2022年)は新型コロナウイルスの流行により利用中止や利用制限をかけたため、全施設で利用者数が減少しています。令和5年(2023年)以降は徐々に利用者数は増加していますが、平成30年(2018年)以前の利用者数と比べると減少傾向にあります。

また、調布市民プールは令和6年(2024年)に施設老朽化のため利用を中止し、総合体育館プールにおいても改修工事のため令和5年(2023年)は閉鎖しています。

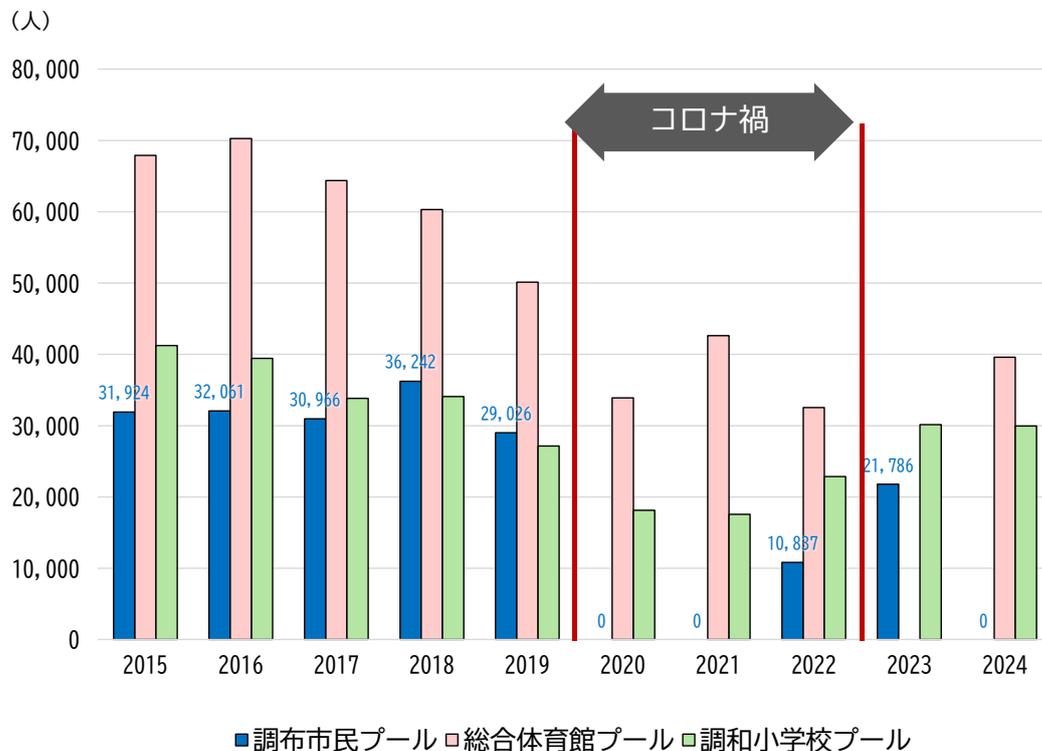


図 2-8 市内公営プールの利用者数推移

表 2-10 10年間(2015年~2024年)の年間平均利用人数

調布市民プール	総合体育館プール	調布小学校プール	合計
2万7549人	5万1297人	2万9442人	10万8288人

※工事や利用制限により利用者数が0人の年は除いて年間平均値を集計

表 2-11 市内公営プールの利用中止期間

西暦	調布市民プール	総合体育館プール	調和小学校プール
2015	—	—	—
2016	—	—	—
2017	—	—	プールろ過タンク更新に伴う 休館（延べ 20 日）
2018	—	—	—
2019	—	新型コロナのため休館 （延べ 4 日間）	—
2020	新型コロナのため開設を中止	工事のため使用を中止 （延べ 10 日間）	—
2021	新型コロナのため開設を中止	工事のため使用を中止 （延べ 7 日間）	工事のため使用を中止 （延べ 72 日間）
2022	人数を制限して事前予約制と し、期間を短縮して営業	改修工事により中止 （延べ 485 日間）	—
2023	—		—
2024	老朽化が確認され利用中止	—	—

(2) 利用料金収入の推移

利用料金収入についても利用者数の推移と同様、新型コロナウイルスの流行した年は大幅に減少しています。屋内プールである調和小学校プールは、調布市民プールと比較して年間利用者数も多く利用料金がやや高いこともあり、毎年500万円以上の収入がありました。また、調布市民プールの令和5年(2023年)の利用料金収入は約260万円となりました。

※総合体育館プールについては、プール施設単独の利用料金収入の集計ができなかったため対象外

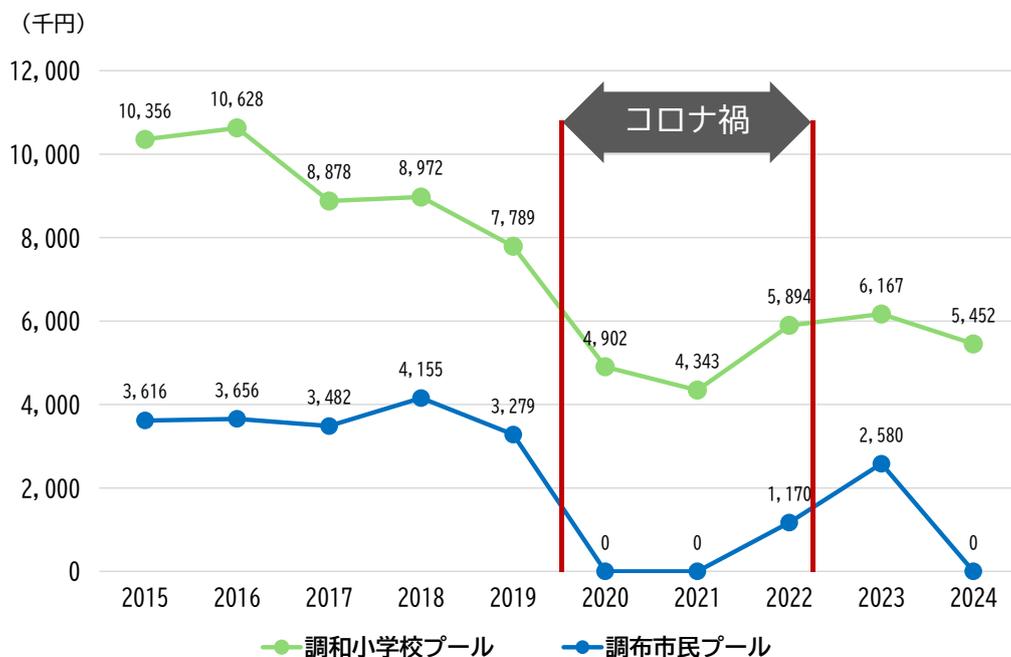


図 2-9 市内公営プールの利用料金収入推移

表 2-12 市内公営プールの利用料金

施設名	市内		市外	
	大人料金	子供料金	大人料金	子供料金
調布市民プール	150 円/2h	中学生 70 円/2h 小学生以下 50 円/2h	300 円/2h	中学生 140 円/2h 小学生以下 100 円/2h
総合体育館プール	200 円/1.25h	70 円/1.25h	市内と同一料金	
調和小学校プール	200 円/1.25h	70 円/1.25h	—(市内利用限定)	

2-5 調布市内の公営プールの運営・維持管理状況

(1) 運営・維持管理の実施体制

市内の公営プールの運営・維持管理体制については、総合体育館のみ指定管理者制度によって運営しており、調布市民プールと調和小学校プールは委託にて運営を実施しています。調和小学校は平成13年にPFI事業者と維持管理運営期間14年8か月で契約を締結したが、事業期間を満了したため、現在は委託にて管理を実施しています。

表 2-13 市内公営プールの運営・維持管理体制

	調布市民プール	総合体育館プール	調和小学校プール
管理運営形態	委託	指定管理者	委託
運営者	(一財)調布市民サービス公社	(公社)調布市スポーツ協会	セントラルスポーツ(株)
施設分類	屋外運動施設	体育館	学校の体育施設

(2) 運営・維持管理に係る収支の推移

1) 支出の推移

調布市民プールの運営・維持管理に係る支出において、割合が最も大きい項目は事業運営委託料となり、令和5年(2023年度)の支出額の合計は約4300万円でした。

表 2-14 調布市民プールの支出 推移(コロナ禍を除く)

単位:千円

支出実績	H29	H30	R01	R04	R05
事業運営委託料	21,277	20,905	24,881	27,353	26,240
上下水道料金※1	6,905	9,311	8,779	7,015	8,241
電気料金※1	6,788	6,989	7,105	7,349	7,172
設備点検※2	456	542	509	406	498
機械警備業務	116	117	117	110	122
電気工作物点検	282	284	284	282	332
合計	35,825	38,149	41,676	42,514	42,605
(参考) 開設日数	63	63	63	38	38

表示単位未満を四捨五入しているため合計値と合わない場合があります。

※1 上下水道料金と電気料金は、市民プールのほか市民野球場と多摩川テニスコートを含む。

※2 設備点検は消防・空調・建築を合算した金額。

2) 収入の推移

調布市民プールの収入総額は、令和5年(2023年度)は約280万円となりました。令和2年(2020年度)と令和3年(2021年度)は新型コロナウイルスのため開設を中止し、収入がありませんでした。

表 2-15 調布市民プールの収入 推移(コロナ禍を除く)

単位:千円

歳入実績	H29	H30	R01	R04	R05
プール使用料	3,482	4,155	3,279	1,170	2,580
ロッカー使用料	248	298	238	87	190
合計	3,730	4,454	3,517	1,257	2,769
(参考) 開設日数	63	63	63	38	38

表示単位未満を四捨五入しているため合計値と合わない場合があります。

3 調布市民プールのあり方に関する課題等の整理

3-1 調布市民プールを取り巻く課題

検討委員会においては、主に以下の着眼点を踏まえ、調布市民プールを取り巻く課題を多角的に整理します。

(分析時の主な着眼点)

- 市民サービス, 市民の満足度 (利用状況)
- 安心・安全 (老朽化の状況, 自然災害)
- 施設の機能性(健康増進, 競技会・選手育成, レジャー等)
- 施設の利便性, 快適性
- 財政的な持続可能性 (財政負担, 年間収支, 今後の見通し)
- 外部プール(屋内プール)を利用した水泳授業の潜在ニーズ, 実現可能性 等

3-2 調布市民プールのあり方に関する検討の基本的な考え方

(1) 検討の基本的な考え方

アセットマネジメントの考え方[※]を参考に、調布市民プールを含む市内のプール施設全体を対象に、「リスク(不確実性)」、「コスト」、「パフォーマンス」の3要素の最適なバランスを図る視点からプール施設の全体最適を検討し(①)、そこから「調布市民プールのあり方」を導く(②)こととしました。

※ アセットマネジメントの国際規格 ISO55000 シリーズ
一般社団法人日本アセットマネジメント協会 <https://www.ja-am.or.jp/am/>

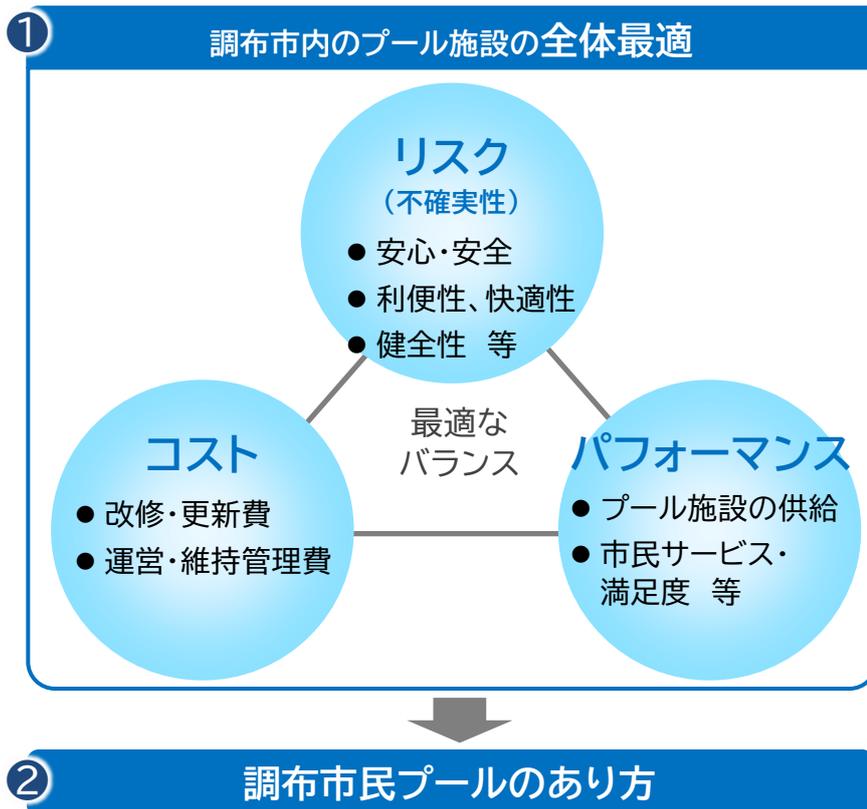


図 3-1 検討の基本的な考え方

(2) 検討の流れ

調布市民プールのあり方に関する検討は、以下の手順で進めることとし、検討委員会での議論を経て、基本方針として整理いたします。

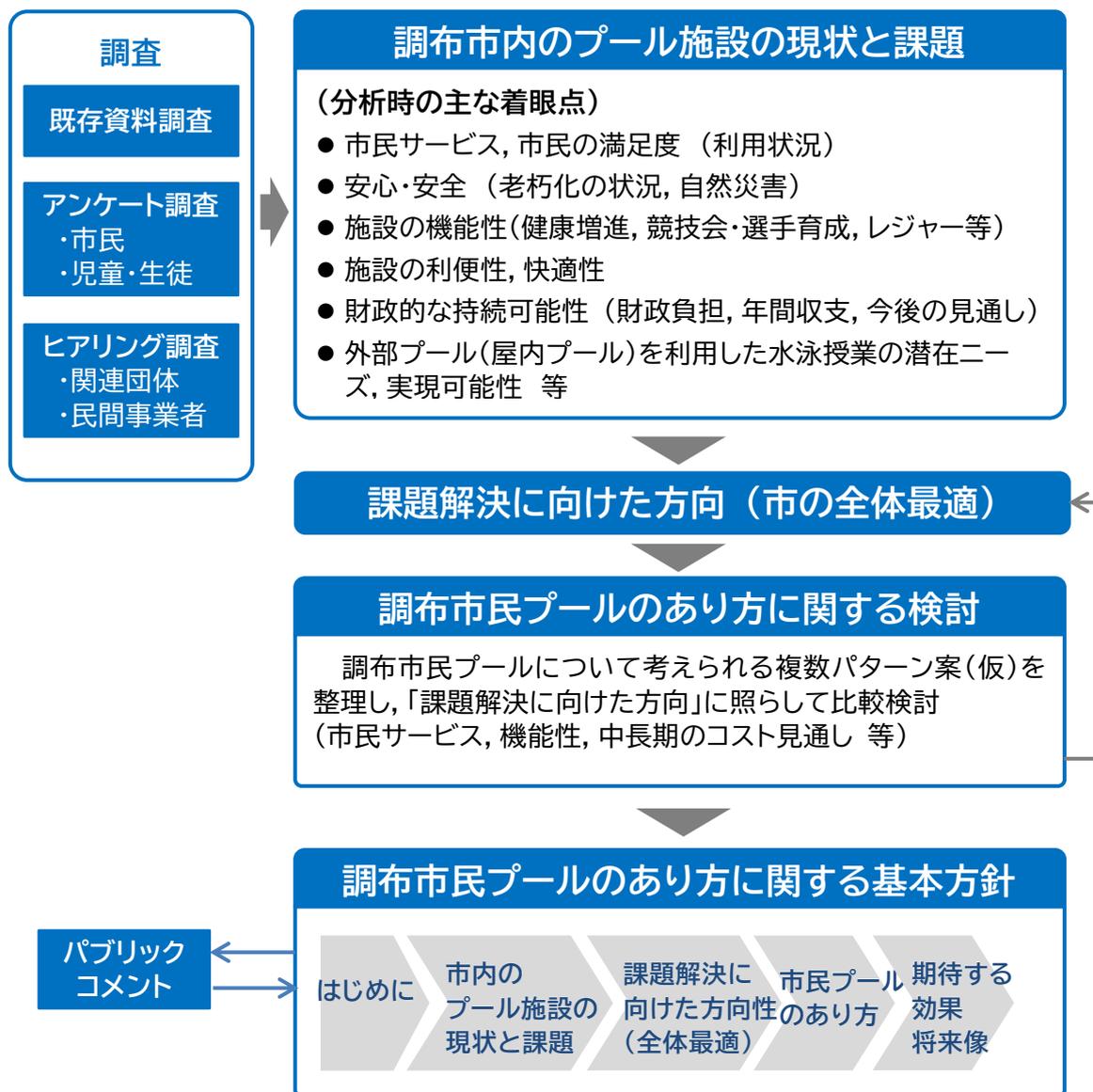


図 3-2 調布市民プールのあり方に関する検討の流れ

4 調布市民の公営プールに関するニーズ等調査

4-1 市民アンケート調査

(1) 調査の目的

本調査は、調布市民プールや市内の他の公営プールについて、利用者(受益者)である市民の利用状況やニーズ等を直接把握し、今後の調布市民プールのあり方を検討するための基礎資料を得ることを目的に行う。

(2) 調査対象者

住民基本台帳から無作為抽出した16歳以上の市民3000人

(3) 調査方法

郵送による配布・回収を基本としつつ、回答者の利便性を考慮し、郵送した調査票に記載する二次元コードから専用のWEBフォームにアクセスしての回答も受け付ける。

回答の前提として、公営プールを取り巻く状況について概説する資料を1枚添付する。

(4) 設問の目的及びねらい

以下に示す設問の目的及びねらいを踏まえて調査票を作成する。

表 4-1 設問内容(案)と目的及びねらい

区分	設問内容(案)	設問の目的及びねらい
基本属性	○ お住まい(西部, 北部, 南部, 東部) ○ 年代	• 居住地による利用施設の傾向, 年齢による利用状況や目的の傾向を分析
プール施設の 利用状況	(※調布市内の公営プール施設の位置図) ① 市内にあるこれらの公営プールを知っていたか(施設名だけでも知っていれば可) - 総合体育館プール(屋内) - 調和小学校プール(屋内) - 京王アリーナTOKYO (武蔵野の森総合スポーツプラザ)(屋内) - 調布市民プール(屋外) ② 直近3年程度(コロナ禍後)の期間でプール施設を利用したことがあるか - 利用したことがある - 利用したことがない(⇒⑥へ) ③ 利用したことがある施設【複数回答可】 - 総合体育館プール(屋内) - 調和小学校プール(屋内) - 京王アリーナTOKYO (武蔵野の森総合スポーツプラザ)(屋内) - 調布市民プール(屋外)	• 近隣自治体の施設を含むプール施設ごとの利用状況を利用目的や居住地別に分析し、調布市内のプール施設の全体最適を検討する際の参考とする。 • 年齢による利用状況や目的の傾向を分析し、今後の市民サービスの向上に向けた参考とする。

区分	設問内容(案)	設問の目的及びねらい
	<ul style="list-style-type: none"> - 調布市以外の公営プール() - 民間プール(スイミングスクール, スポークラブ等) - レジャープール(よみうりランド, サマーランド等) - その他 <p>④ プール施設の主な利用目的【施設ごとに】</p> <ul style="list-style-type: none"> - レジャー・遊び(主に小学生以上) - 水遊び(主に幼児) - 健康づくり - 気分転換・ストレス発散 - 習い事(スイミングスクール, 水泳教室等) - 競技会・大会 - その他() <p>⑤ プール施設を選んだ理由【施設ごとに】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 料金が安いから - 近い・通いやすいから - 屋内プールだから - 施設が充実しているから - 衛生的・清潔だから - プログラムが充実しているから - プール以外の魅力があるから - その他() <p>⑥ ②で利用していないと回答した方は、その理由【複数回答可】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 自宅から遠い, 行きやすい場所がない - 泳ぎたい曜日や時間帯に営業していない - 泳ぐのが苦手, 好きではない - 日焼けをしたくない(屋外プールの場合) - 猛暑, 不安定な天気(屋外プールの場合) - 施設の場所を知らない - プール施設に魅力を感じない - プール施設の衛生面が不安 - 泳ぎたいがきっかけがない - 特に理由はない - その他() 	<p>• プール利用の妨げとなっている要因を把握し, 今後の利用促進の参考とする。</p>
相互利用	<p>⑦ 調布市外の近隣自治体の公営プールが市民と同じ料金で利用できたら積極的に利用したいと思いますか</p> <ul style="list-style-type: none"> - 積極的に利用したいと思う - 機会があれば利用したいと思う - あまり利用したいと思わない - 分からない - その他() 	<p>• 近隣自治体との相互利用の可能性を検討する際の参考とする。</p>
自由意見	<p>⑧ 調布市の公営プールに求めること, その他(自由記述)</p>	<p>• 想定外の意見の拾い上げ</p>

4-2 学校アンケート調査

(1) 調査目的

本調査は、調布市民プールや市内の他の公営プールについて、利用者(受益者)として子供たちに利用状況やニーズ等を直接把握するとともに、外部プールを利用した水泳授業の潜在的なニーズを把握し、今後の調布市民プールのあり方を検討するための基礎資料を得ることを目的に行う。

(2) 調査対象者

市内の公立小・中学校(小学校 20 校, 中学校 8 校)のうち, 以下の学年の全児童・生徒

表 4-2 学校アンケートの調査対象者

区分	対象学年(通常学級)	児童・生徒数※
小学校 低・中学年	小学 3 年生	1874 人
小学校 高学年	小学 6 年生	1861 人
中学校	中学 2 年生	1448 人

※児童・生徒数:令和 6 年 5 月 1 日現在

(3) 調査方法

地方自治体向け手続等デジタル化ツールLoGoフォームで調査フォームを作成し, 市教育委員会を通じて各学校にアクセス用の URL と QR コードを配布し回答を依頼する。

(4) 設問内容及び分析のねらい

以下に示す設問の目的及びねらいを踏まえて調査票を作成する。

特に設問①～④は, 市民アンケートと同じ趣旨の設問とし, 市民アンケートで把握できない小・中学生年代の調査結果として比較可能な内容とする。

表 4-3 設問内容(案)と目的及びねらい

区分	設問内容(案) ※小学生の文章表現は今後精査	設問の目的及びねらい
基本属性	○ 小・中学校名+学年 ○ お住まい(西部, 北部, 南部, 東部)	• 居住地による利用施設の傾向, 学年による利用状況や目的の傾向を分析
プール施設の利用状況	(※調布市内の公営プール施設の位置図) ① 市内にあるこれらの公営プールを知っていたか(施設名だけでも知っていれば可) - 総合体育館プール(屋内) - 調和小学校プール(屋内) - 京王アリーナTOKYO (武蔵野の森総合スポーツプラザ)(屋内) - 調布市民プール(屋外) ② 直近 3 年程度(コロナ禍後)の期間でプール施設を利用したことがあるか	• 近隣自治体の施設を含むプール施設ごとの利用状況を利用目的や居住地別に分析し, 調布市内のプール施設の全体最適を検討する際の参考とする。

区分	設問内容(案) ※小学生の文章表現は今後精査	設問の目的及びねらい
	<ul style="list-style-type: none"> - 利用したことがある - 利用したことがない (⇒⑥へ) ③ 利用したことがある施設【複数回答可】 <ul style="list-style-type: none"> - 総合体育館プール(屋内) - 調和小学校プール(屋内) - 京王アリーナTOKYO (武蔵野の森総合スポーツプラザ)(屋内) - 調布市民プール(屋外) - 調布市以外の公営プール() - 民間プール(スイミングスクール, スポーツクラブ等) - レジャープール(よみうりランド, サマーランド等) - その他 ④ プール施設の主な利用目的【施設ごとに】 <ul style="list-style-type: none"> - レジャー・遊び(主に小学生以上) - 水遊び(主に幼児) - 健康づくり - 気分転換・ストレス発散 - 習い事(スイミングスクール, 水泳教室等) - 競技会・大会 - その他 () ⑤ プール施設を選んだ理由【施設ごとに】 <ul style="list-style-type: none"> - 料金が安いから - 近い・通いやすいから - 屋内プールだから - 施設が充実しているから - 衛生的・清潔だから - プログラムが充実しているから - プール以外の魅力があるから - その他 () 	
	⑥	⑥
	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ ②で利用していないと回答した方は、その理由【複数回答可】 <ul style="list-style-type: none"> - 自宅から遠い, 行きやすい場所がない - 泳ぎたい曜日や時間帯に営業していない - 泳ぐのが苦手, 好きではない - 日焼けをしたくない(屋外プールの場合) - 猛暑, 不安定な天気(屋外プールの場合) - 施設の場所を知らない - プール施設に魅力を感じない - プール施設の衛生面が不安 - 泳ぎたいがきっかけがない - 特に理由はない - その他 () 	<ul style="list-style-type: none"> • プール利用の妨げとなっている要因を把握し, 今後の利用促進の参考とする。
水泳授業について	<ul style="list-style-type: none"> ⑦ 学校の水泳授業について <ul style="list-style-type: none"> - 楽しい - どちらかといえば楽しい - どちらかといえば楽しくない - 楽しくない - どちらともいえない 	<ul style="list-style-type: none"> • 外部プール, 屋内プールでの水泳授業の潜在的なニーズを把握し, 屋内プールの必要性の検討の参考とする

区分	設問内容(案) ※小学生の文章表現は今後精査	設問の目的及びねらい
	<p>⑧ 「(どちらかといえば)楽しい」の理由 【複数回答可】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 泳ぐことが好きだから・得意だから - 暑いときに泳ぐと気持ちがいいから - 授業が楽しいから - 教えてもらって、泳げるようになるから (なりたいから) - その他 <p>⑨ 「(どちらかといえば)楽しくない」の理由 【複数回答可】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 泳ぐことが不得意だから、水が苦手だから - プール施設やトイレなどが古いから - 水がきれいではないから - 寒かったり、水が冷たいときがあるから - プールサイドがすごく熱いときがあるから - 日焼けが嫌だから - 疲れるから - 水着になるのが嫌だから - その他 () 	

4-3 団体ヒアリング調査

(1) 調査目的

本調査は、施設管理者の視点、施設利用者(受益者)を代表する視点、水泳の普及・振興の視点などから、公営プールのあり方や屋外プールの必要性、今後の利用見通し等について意見を伺い、今後の調布市民プールのあり方を検討するうえで有益な知見を得ることを目的に行う。

(2) 調査対象者

以下の団体を想定

表 4-4 団体ヒアリングの調査対象者

調査対象者	選定理由
公益社団法人 調布市スポーツ協会	スポーツ大会の企画・運営等を通じて調布市のスポーツ振興を担い、また指定管理者として調布市総合体育館の管理運営を行っている
調布市水泳連盟	水泳競技大会の企画・運営や水泳教室、水泳指導者の育成等を通じて調布市の水泳の振興に貢献している
特定非営利活動法人 調和SHC倶楽部	市内唯一の総合型地域スポーツクラブであり、健康目的の水泳や水中歩行等のサークル、小学生のスイミングサポート等を実施している

(3) 調査方法

訪問による個別対話形式

(4) ヒアリング内容(案)

- 水泳振興、健康増進等の視点からの調布市内の公営プールの課題、満足度
- 調布市民プール、屋外プールの利用ニーズに関する今後の見通し
- 管理・運営に対する意見・要望、市に対する意見・要望 等

5 今後のスケジュール等について

5-1 今後のスケジュール等

表 5-1 今後のスケジュール等

日程	事項	主な内容(予定)
令和7年 6~8月頃	○ 市民プールに係るニーズ等調査	<ul style="list-style-type: none">市民アンケート学校アンケート関係団体ヒアリング民間事業者ヒアリング
8月頃	○ 第2回市民プールのあり方に関する検討委員会	<ul style="list-style-type: none">ニーズ等調査の結果報告今後の方向についての比較検討(コスト, 機能など)
9月頃	○ 第3回市民プールのあり方に関する検討委員会	<ul style="list-style-type: none">中間報告(あり方に関する基本方針(素案))
10~11月頃 (1か月程度)	○ パブリック・コメント手続の実施	<ul style="list-style-type: none">市民プールのあり方に関する基本方針(素案)に対するパブリック・コメントの手続の実施
12月頃	○ 第4回市民プールのあり方に関する検討委員会	<ul style="list-style-type: none">市民プールのあり方に関する基本方針(案)

※現時点でのスケジュールのため、今後の検討状況などによって変更となる場合があります。